



JEITA 第3回 環境推進セミナー ～温暖化防止に貢献するIT・エレクトロニクス～

「ITソリューションによる温暖化対策貢献」発行に伴い、本年より開催している「環境推進セミナー」にて、IT・エレクトロニクスがどのような分野で温暖化防止に貢献しているか、将来の温室効果ガス削減ポテンシャルの調査結果等、産業界の具体的な事例を交えて紹介しました。当日は定員（100名）を超え、130名近い聴講者が参加し、会場は非常に盛況でした。

アンケートの回答にもセミナーに参加した目的に「ITソリューションによるCO₂削減ポテンシャル」や「IoTを活用した省エネ事例」が多数挙げられていました。

今後とも会員企業のニーズを捉えた委員会活動を充実させるとともに、引き続きセミナーを開催いたします。

日時：平成28年11月28日(月) 13:30～17:00
場所：JEITA 409-413会議室
主催：一般社団法人 電子情報技術産業協会
企画：環境委員会／環境推進委員会

■ ITソリューションによる温暖化対策貢献 ～2030年に向けた温室効果ガス削減ポテンシャル～

古橋 真氏 JEITA温暖化貢献アピール調査TF 主査
(ソニー(株) 品質・環境部 環境グループ 環境渉外担当部長)

環境委員会で取り組んできたITによるCO₂削減ポテンシャルについて詳報するとともにITソリューションによる温暖化対策貢献についてご講演いただきました。

- ・背景／TF活動の概要
- ・「部門別」のCO₂削減ポテンシャル
- ・「スマート・コミュニティ」のCO₂削減ポテンシャル
- ・「農林畜産分野」のGHG削減ポテンシャル

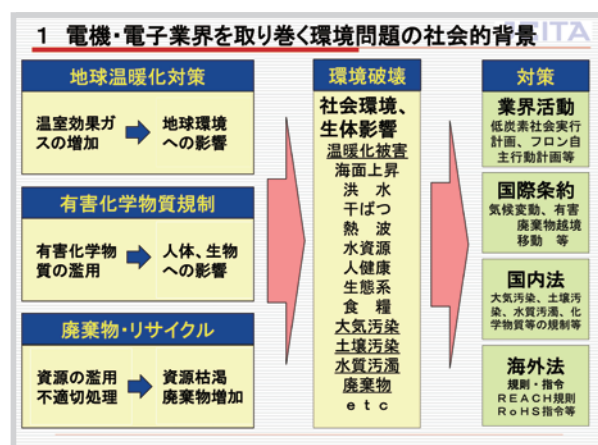
※詳細は冊子「ITソリューションによる温暖化対策貢献」にございます。冊子のご紹介はP7（「ITソリューションによる温暖化対策貢献」を発行）をご参照ください。

■ JEITA環境委員会の 取り組みの紹介

大嶽 充弘氏 JEITA環境委員会 委員長
(日本電気(株) 執行役員常務)

JEITA環境委員長より、開会の挨拶として当委員会の活動について説明しました。

- ・電機・電子業界を取り巻く環境問題の社会的背景
- ・JEITA環境委員会の取り組みと運営体制
- ・電機・電子業界の温暖化対策の取り組み
- ・温暖化対策 2020年削減目標の進捗
- ・ITによるCO₂削減ポテンシャルの定量化



■ 基調講演： COP22の結果について

猪俣 明彦氏 経済産業省産業技術環境局
地球環境対策室長

11月7～18日に開催されたCOP22協定において、「パリ協定」の実施指針や、交渉の概要をご講演いただきました。

- ・気候変動に関する国際交渉について
- ・長期の地球温暖化対策について

開催報告

■ 地球温暖化問題の解決への 長期的な見通しについて

杉山 大志 氏 一般財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所
上席研究員 IPCC第5次評価報告書第3部会
統括執筆責任者

地球温暖化問題の解決に向け、地球温暖化のリスクの認識、現状の国際社会及び日本の取り組み概況、イノベーションや電気利用技術の位置付け等ご講演いただきました。

- ・地球温暖化のリスク
- ・内外の取り組み状況
- ・イノベーションと地球温暖化
- ・電機的作用

環境と経済の両立

1. 「革新的温暖化対策技術」が温暖化問題の解決には不可欠。
2. 革新的温暖化対策技術を得るためには、科学技術全般の進歩が必要。
3. 科学技術全般の進歩のためには、活発な経済活動が必要。

⇒「温暖化対策と経済成長の両立」は、単にトレードオフへの配慮ということを超えて、**実は、温暖化問題の解決のために必須。**

革新的温暖化対策技術
科学技術全般の進歩
活発な経済活動

© CRIEPI 2016 R 電力中央研究所

■ EMS(エネルギーマネジメントシステム)による 省エネ効果と先進事例のご紹介

野田 肇 氏 JEITAグリーンIT委員会BEMS導入促進WG 委員
(株)東芝 ビル・施設ソリューション事業部戦略室 室長

ビル・施設の省エネ/CO₂削減において、EMS(エネルギーマネジメントシステム)は非常に大きな期待が寄せられており、JEITAグリーンIT委員会「BEMS導入促進WG」で検討してきたEMSの効果や、最先端の技術を取り入れた東芝川崎スマートコミュニティセンターの

事例についてご講演いただきました。

- ・JEITA グリーンIT委員会での活動状況
- ・ビル・施設業界を取り巻く環境
- ・省エネ/省CO₂/快適性に貢献するソリューション/サービス
- ・先進事例紹介：川崎スマートコミュニティセンター

※本講演で紹介された「BEMSによる省エネ効果」については、以下URLをご参照ください。

<http://home.jeita.or.jp/greenit-pc/bems/index.html>

■ 電子部品によるCO₂削減への貢献

横山 亮 氏 JEITA部品環境専門委員会電子部品LCA-WGリーダー
(TDK(株) 経営管理本部総務グループ 安全環境室 課長)

電子部品は、世界中で使われる様々な電気製品・設備に搭載され、それらの機能的進化を支えるとともに、CO₂排出削減/省エネ性能向上にも貢献を果たしています。本講演では、これらの事例や電子部品の貢献度合いを数値化する取り組みについてご紹介いただきました。

- ・電子部品の用途および貢献内容
- ・電子部品の貢献事例
- ・IoT社会と電子部品
- ・貢献量算定手法について

IoTにおけるセンサーの活用事例① JEITA

IoTの仕組みを活かした次世代製造工場
インターネットで操業監視や遠隔操作できるセンサーを組み込んだ製造装置、操業データを収集・分析することで最適な稼働条件を割り出して生産性を高める。

TDK

① 情報収集 (センサー、Wi-Fi、MES)
② 情報活用 (品質改善、予防保全)

・案件管理(Lot)
・Lot管理(投入量・数量)
・傾向管理(電流)
・予防保全
・不良原因対策

製造品質に影響を与える設備要因、人作業要因のばらつき低減を徹底

出典:TDK(株)/IT・エレクトロニクス×地域活性化百選(JEITA発行)より抜粋